

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)  
■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称	新潟関屋自動車学校混合寮棟	
建設地	中央区 関屋浜松町22番地	
用途地域	近隣商業地域、準防	
建物用途	集合住宅	
竣工年	2019年11月 予定	
敷地面積	1,071.00 m <sup>2</sup>	
建築面積	486.96 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,214.79 m <sup>2</sup>	
階数	地上5F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2017年3月8日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

<p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{43.9}{40.5} = 1.0$
---	----	--

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえない人命、財産、思い出を守るために	2.8		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.8		建物の熱負荷抑制	5.0
			自然エネルギー利用	2.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

5.資源循環の取組みに対して、トイレの個数が多いため節水型を採用している。7.新潟のまちなみへの取組みに対して、近隣に同時期に校舎棟、食堂棟が建つがデザインを統一し景観を形成している。

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟関屋自動車学校混合寮棟	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,400時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2017年3月8日
敷地面積	1,071 m <sup>2</sup>	作成者	田邊武
建築面積	487 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,215 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 97%  
③上記+②以外の 97%  
④上記+ 97%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.7**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 平均的な環境設計を行い、また同時期に建つ校舎棟、食堂棟も考慮した計画とする。		<b>その他</b> 混合寮棟利用者は貸自転車を使用できる。
<b>Q1 室内環境</b> シックスハウスの事例もあることから建材は全てF☆☆☆や規制対象外のものを使用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 鉄骨ラーメン構造の採用で耐力壁の無い構造とし、空間の形状・自由さを得ている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 近隣に同時期に校舎棟、食堂棟が建つがデザインを統一し景観を形成している。また歩道に対して花壇を設置している。
<b>LR1 エネルギー</b> 外皮の性能を高め、高効率の設備を採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> トイレの個数が多いため節水型を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 施設の利用者は送迎バスや近隣混合寮を利用できる。また自転車駐輪場を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される